

コウモリ類の保全



なぜ今コウモリ保全か？

- 哺乳類の保全を考える上で最も重要な対象！
 - 最も種類が多い哺乳類で、かつ希少種も多い
 - 洞穴など脆弱な特殊環境に依存
 - 数多くの昆虫類を捕食するキーストン種
 - 農業上有用な益獣

にも関わらず・・・

- 踏み込んだ保全の議論が行われてこなかった・・・
 - 夜行性かつ飛翔するという生態から調査困難

技術改善で
解決可能！

- 捕獲調査による実態解明での確な保全が可能に！
 - カスミ網を用いた捕獲技術の導入
 - 種ごとの生態に応じた的確な保全の検討

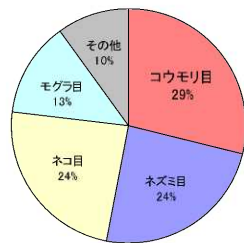


図1 日本産哺乳類の目別割合

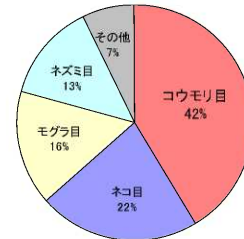
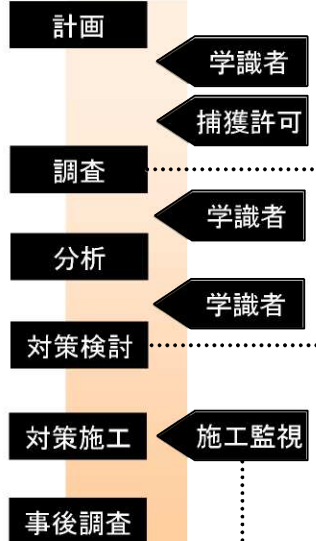


図2 レッドデータブック掲載種の目別割合

コウモリ保全の流れ



Point1 捕獲技術

- 種ごとに異なる飛翔特性を読む！
- 超音波を発して網を回避するコウモリをも捕獲できる場所を読む！
- 捕獲後は、詳細な計測により種を特定！

カスミ網による捕獲の様子 種特定のための計測の様子

Point2 対策検討

- 種ごとの生態に即した対策検討
- 科学的データに基づく対策検討

<対策検討の例(トンネルでの保全対策)>

スリット型 ※狭い隙間を好む種用
1スリット5cm

凹型 ※広い窪みを好む種用
50cm幅の窪み

洞窟性コウモリ2種を対象に2タイプのピットを考案

坑内温度分布と落下糞粒数に基づき設置位置を検討

Point3 施工監視

- 施工監視により高い効果発現を実現

“施工業者”と“生物技術者”の協働により、実効性の高い保全を実現

業務実績

- 道庁・市町村・農業者等による調査業務
- 調査結果の報告書作成業務
- 調査結果の報告書作成業務

総合建設コンサルタント
株式会社 ウェスコ

WESCO

Home Page <http://www.wesco.co.jp/>

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています